

文教住宅都市としての 学生のすまい ワークショップ

学生

西宮市

専門家



ニュース第1号

西宮市すまいづくり推進課発行 2014年10月

『文教住宅都市としての学生のすまいワークショップ』が始まりました！

西宮市は「文教住宅都市宣言」から昨年で50周年を迎えました。市内には9大学・短期大学*が立地しており、全国でも有数の大学の多いまちといえます。そのため、「文教住宅都市にのみや」としてまちづくりを進めるにあたり、海外からの留学生を含む学生の皆さんが、安心して楽しく暮らすことのできる住環境をつくるのが非常に重要になってきます。

そこで今年度は「学生のすまい」をテーマに、『文教住宅都市としての学生のすまいワークショップ』を開催し、学生の皆さんにとって魅力的なすまいづくりに向けた施策検討を行うことになりました。

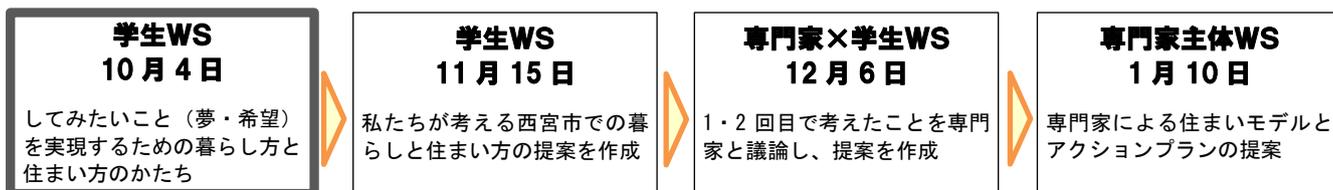
※関西学院大学・聖和短期大学・武庫川女子大学・武庫川女子短期大学・大手前大学・神戸女学院大学・甲南大学・兵庫医科大学・甲子園短期大学の9大学



ワークショップの流れ

ワークショップには、大学生や住宅・不動産関係の事業者の方、学識経験者など、22名に参加いただき、下図のとおり全4回の工程で議論してもらいます。最終的には提案を取りまとめる予定です。

ワークショップメンバー：NPO関係者2名、学識経験者（近畿大学）1名、西宮市内不動産事業者2名、シェアハウス企画運営事業者1名、大学生（留学生含む）16名、ファシリテーター（株式会社地域計画建築研究所）3名



このニュースでは、ワークショップの様子を皆さんにお伝えしていきます。

今回は第1回目のワークショップで話し合われた内容やスピーチの内容等をお伝えします。

第1回ワークショップのプログラム

日時 2014年10月4日（土）14時～17時
場所 西宮市役所東館7階701会議室

- | | | |
|--|--|-------------|
| プログラム① | はじめに | 14:00～14:30 |
| プログラム② | キックオフスピーク | 14:30～14:50 |
| ・『若者とシェアハウス -暮らし方と運営者の思い-』スピーカー：株式会社めい 扇沢 友樹 氏 | | |
| プログラム③ | テーマ1：学生の暮らし方、遊び方、学び方、してみたいこと | 14:50～15:30 |
| プログラム④ | テーマ2：してみたいこと（夢・希望）を実現するための暮らし方と住まい方 | 15:35～16:35 |
| ・参加者が2班に分かれ、テーマ1・2について議論を行い、班毎に発表を行いました。
(出て来た意見は2～3頁を参照) | | |
| プログラム⑤ | 発表・専門家からのコメント・アドバイス | 16:35～17:00 |

1 班で話し合った内容

暮らし・遊び・学び

大学

- ・ゼミや講義で友達と
- ・サークル活動（阿波踊りサークル、ソフトボール、グリークラブ、フットサルなど）

アルバイト先

- ・家庭教師、塾講師、居酒屋、放送局、軽作業など

住まい

- ・留学生が住む大学寮で生活
- ・大学の近くに下宿
- ・下宿生活は自炊
- ・自宅から通学（川西市、神戸市など）

遊び場

- ・西宮北口（西宮ガーデンズで買物や映画、トマトでボーリング）
- ・梅田、三ノ宮

関心、好きなこと

- ・日本文化、国際交流
- ・音楽、合唱
- ・お笑い
- ・語学
- ・資格取得
- ・料理、手芸

夢・希望

普段出会うことができない人との交流

- ・いろいろな分野、経験豊かな人達と交流したい
- ・同じ志（ベクトル）の仲間と行動したい
- ・学生は交流の幅が限られており、視野が狭くなりがち

学生生活を豊かにする遊び・文化の機会

- ・身近な地域で趣味、文化活動のレクチャーを受けたい
- ・好きなことで地域とつながりたい（文化芸術、スポーツ活動）
- ・日本文化に触れたい

地域とつながって安心できる学生生活

- ・いきつけのお店
- ・地域の人、学生同士が分かり合える機会
- ・地域になじみたい

- ・大学生の活動範囲は限られている。
- ・学生以外との出会いの機会は少ない。

夢を実現するための暮らし・住まい

出会い

自分磨きの交流の場

- ・いろいろな志をもった人が集まる場
- ・ヒントをくれる人と出会える場
- ・異文化（国際交流）、異世代（多世代交流）、多文化との交流
- ・他大学の学生との交流

好きなことを創作・発表

好きなことで人とつながる創作・発表の場

- ・身近で趣味活動のレクチャーを受けたり、提供したりできる
- ・ライブハウス、ギャラリーなどの発表の場
- ・アトリエ、スタジオなど創作の場

地域とつながる

地域密着型の顔が見える居場所

- ・小学校区ぐらいの西宮らしさのある環境
- ・地域の人もやってくる、身近な顔が見える人の繋がりがあ
- ・安心して過ごせる居場所

住まい+αのシェア

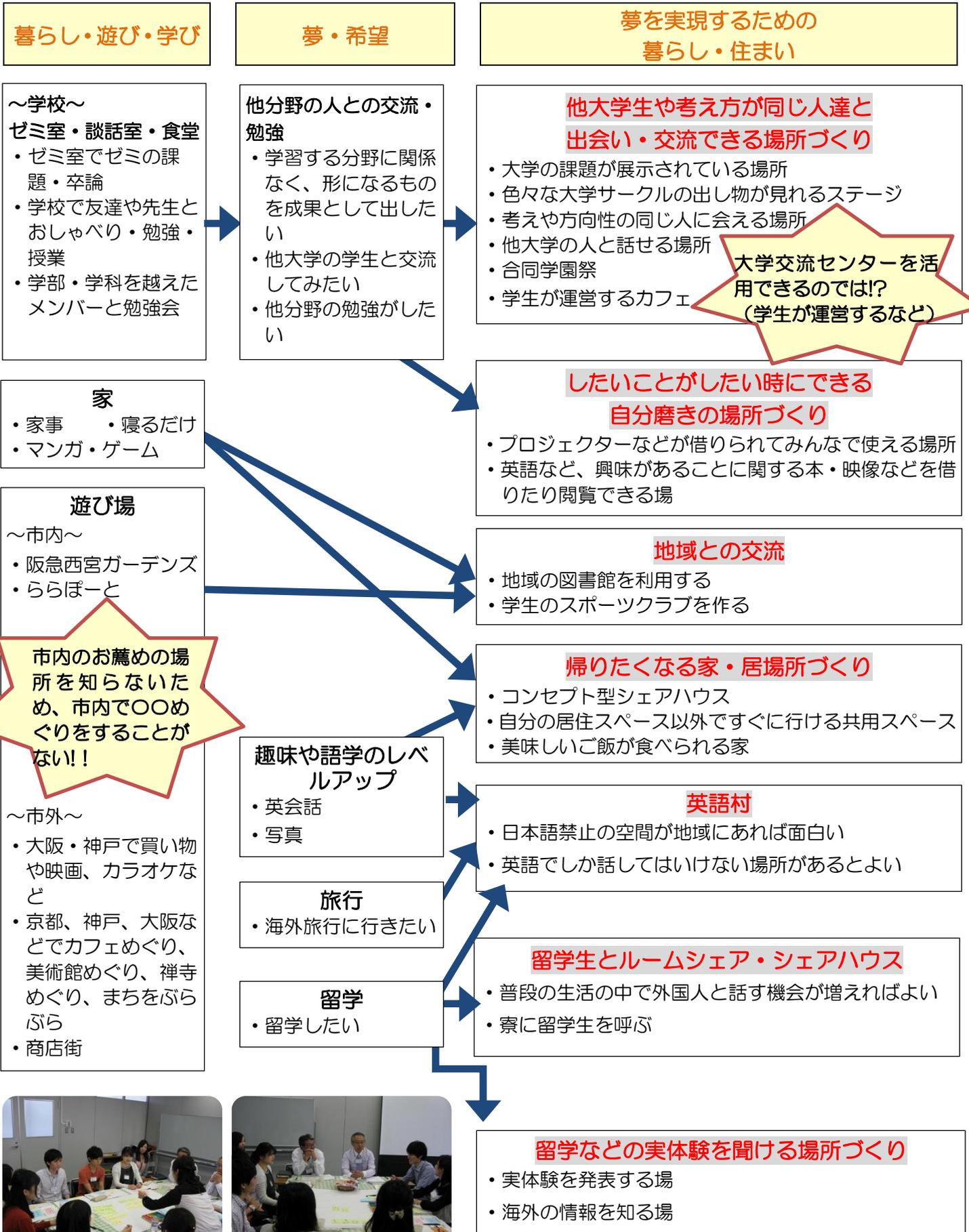
+αのシェアハウス

- ・他大学の学生、異文化（留学生）や異世代（社会人）とのルームシェア
- ・期間限定のルームシェア
- ・宿泊施設併設型シェアハウス
- ・地域貢献活動をすることで家賃助成を受けることができる（地域の掃除、家庭教師、文化芸術、スポーツの提供などで地域貢献）



ワークショップの様子

2 班で話し合った内容



ワークショップの様子

プログラム① ～キックオフスピーク～ 株式会社めい 扇沢 友樹 氏
『若者とシェアハウス -暮らし方と運営者の思い-』

ワークショップに参加していただいている専門家 扇沢友樹氏によるミニ講演会の概要一

シェアハウスへの思い

- ・私は大学卒業の5日目に起業したのですが、在学時から人のためになる仕事を起業したいと考えていました。しかし、その思いを理解・共感してくれる人となかなか巡りあうことが出来ませんでした。そのため、何かを始めたいと思っている人が集まり、共感し合えるコミュニティを創りたいと思い、シェアハウスを運営しています。
- ・運営しているシェアハウスは、築40～60年経過した古民家を活用しています。住まいの中に余白を与えており、住人が何か活動を行いたいと思った時に、一歩を踏み出す場としても活用できるようにと考えています。

株式会社めいの理念

- ・株式会社めいの理念は「仕事と家族の充実」です。仕事と家族を天秤にかけるのではなく、両方をよくしていくことが重要だと思っています。そのためには、出来るだけ若いうちから、自分の天職にあり付くための努力を行うことが大切だと思います。
- ・シェアハウスでは、他人と生活を共にしてお互いの価値観を理解しようと努めるうちに、自分自身を見つめ直す時間をもつことができます。その中で、若いうちから仕事や生き方について考える機会が持て、自分の天職にあり付くための努力が行える場になると思います。



プログラム⑤ 専門家からの感想・アドバイス

住まうことに対する学生の需要を知ることが出来て面白かったです。次回は提案に向けてもっと活発な意見交換が出来るように、具体的に提案につながることを考えてきてもらえると良いと思います。

不動産業者

今日、意見として出された内容を提案していくためにはどうしたらよいか、1カ月の間に調べたり考えたりしてもらえたらと思います。

不動産業者

高齢者もみんなで住まうシェアハウスへの需要が高まっているが、学生も同じだということを知って、どこかで多世代が暮らすシェアハウスとしてマッチングできたらいいのではないかと思います。

NPO 関係者

西宮市のまちの中にもまだまだ余白があると思うので、その余白を活かして若者が楽しめる面白い場所を提案してくれることを期待しています。

シェアハウス企画運営事業者

大学では専門性を身に付けてもらうための場としてカリキュラムを組んでいますが、学生は専門性よりも幅広いことに興味をもっており、それをまちに求めていることが分かりました。また、人との交流に投資したいと考えており、人と結びつくことで、自分の方向性を考えて行きたいというネットワーク型の志向であるのだと思います。そして、そのつながりをつくれる場所を欲しているのだと思います。子どもの育成や学生に大切なこととして3つの「間」があげられます。それは、空間と時間と仲間です。この3つの間を実現するプロセスを考えていければ面白いものになるのではないかと思います。

学識経験者

第2回文教住宅都市としての学生のすまいワークショップ

日時 平成26年11月15日(土)午後14:00～

場所 西宮市役所東館7階701会議室

テーマ 私たちが考える西宮市での暮らしと住まい方